

5 就業に関する意識

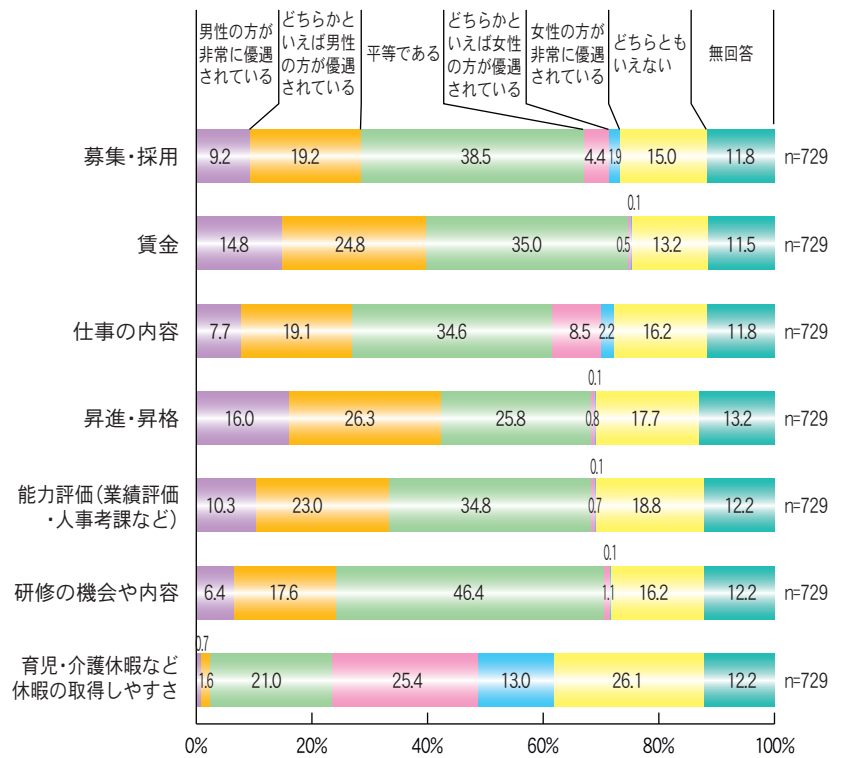
「賃金」や「昇進・昇格」は男性優遇感、「育児・介護休暇など休暇の取得しやすさ」は女性優遇感が強い

職場での男女差については、「昇進・昇格」(42.3%)や「賃金」(39.6%)の面で男性が優遇されていると感じている人の割合が高くなっています。

一方、「育児・介護休暇など休暇の取得しやすさ」の面では、女性が優遇されていると感じている人の割合が高くなっています。

また、「研修の機会や内容」(46.4%)や、「募集・採用」(38.5%)の面では、男女が平等であると感じている人の割合が高くなっています。

職場での男女差

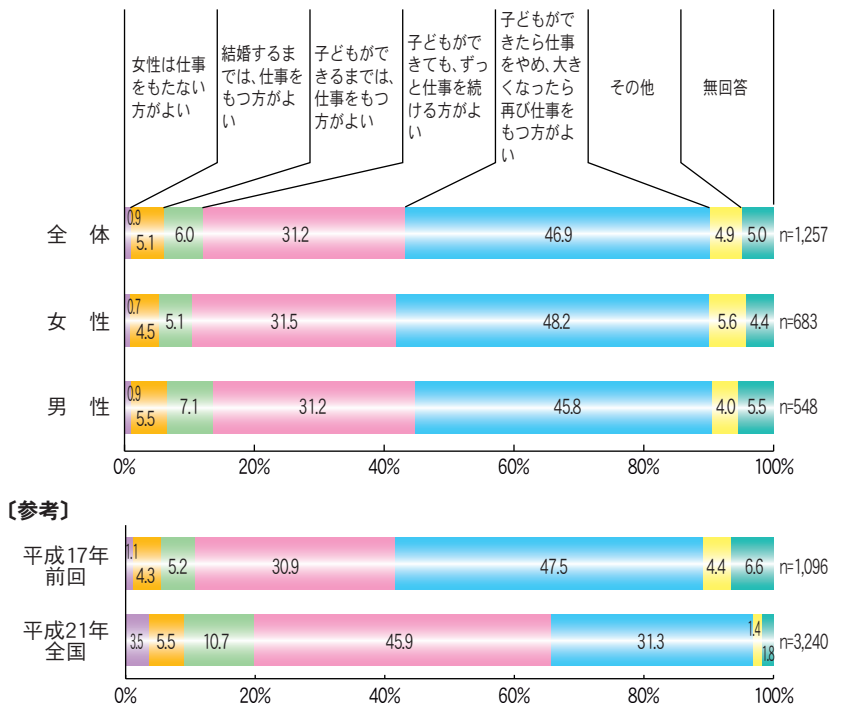


女性の働き方の理想として支持が高いのは、「中断再就職型」

女性の働き方としては、「中断再就職型(子どもができたらか仕事をやめ、大きくなったら再び仕事をもつ方がよい)」を支持する人が最も多く(46.9%)、次いで「職業継続型(子どもができててもずっと仕事を続ける方がよい)」(31.2%)となっています。

性別でも、男女間で意識に大きな差はなく、前回調査(平成17年9月)と比較しても大きな変化はありませんが、全国値と比較すると、本県では「中断再就職型」を望む人の割合が高くなっています。

女性の就業についての意識



・前回データ：男女共同参画社会づくりのための県民意識調査(平成17年9月、宮崎県)
 ・全国データ：男女共同参画社会に関する世論調査(平成21年10月、内閣府)